

こたんめーる 95号

2018年3月1日 発行

〒059-0902

北海道白老郡白老町若草町2丁目3番4号

Tel 0144-82-3914 Fax 0144-82-3685

一般財団法人アイヌ民族博物館



アイヌ民族博物館 ファイナル企画展 開催中!!

ポロコタン ウパシクマ ～ポロコタンを語り継ぐ～

白老ポロコタン、52年間の記憶と



2020年、つながるその先へ。

ファイナル企画展

ポロコタン ウパシクマ ～ポロコタンを語り継ぐ～

日時：2月18日（日）～3月31日（土）

会場：アイヌ民族博物館 特別展示室

料金：入場料のみ（白老町民は入場無料）

50年以上にわたるポロコタンの歴史を、写真資料を中心に振り返る企画展です。

開催期間中、各種関連イベントも開催します。

ご来場お待ちしております！

関連イベント

特別公演

日時：3月3日（土）13:15～

会場：サウンチセ

シンポジウム

日時：3月11日（日）13:30～

会場：博物館内チセ

オルシペ アヌ ロー特別版

日時：3月17日（土）14:45～

会場：ポロチセ

いずれも入場料のみで参加できます

お問い合わせ 0144-82-3914

スイウヌカラシロ!
(また会いましょう)

一般財団法人アイヌ民族博物館としては最後の「コタンメール」となりました。

今回は節目として、コタンメール初代責任編集長からのコメントをお届けいたします。

「コタンメール」は町民との懸け橋

中村 齋（アイヌ民族博物館元館長）

「博物館は学芸員のものではない、利用する市民のものだ。」これが、学芸員である私の座右の銘である。その私が館長就任最初の仕事としたのが、博物館と市民をつなぐ一番の利器、月刊「コタンメール」の発刊であった。長い間、白老町民から距離を置かれていた博物館を町民のものにすることを最優先としたのだ。あえて「メール」としたのは、博物館のかび臭いイメージを払しょくし、更に「現代アイヌの存在」を示すためであった。

第1号は徹底的に白老町民に呼びかける内容にした。編集者のことばで「5月に館長になったばかりの中村です」と町民に顔をさらし、メールが町内会を通して町民全員の目に触れるようにもし、合わせて、館長室は誰でも出入り自由にした。第2号のトップ記事は「白老町民は無料!」。さらに「夏休み絵画コンクール」で、子どもたちの心をも掴んだ。

アイヌ民族博物館は私の長い学芸員人生の集大成の場所と銘する。イヤイライケレ。

(コタンメール第1号は、2002年7月1日に創刊)



Facebook、Twitterでも情報をご覧いただけます。
コタンメールはホームページへも掲載しています。

URL: www.ainu-museum.or.jp

編集/発行: アイヌ民族博物館 学芸課

【2017年度のポロトコタン振り返り写真】



inep
4月

asiknep
5月

▲ペネコシヨイモ作り ▲舟下し ▲コタンの樹木案内 ▲ダフル族との交流 ▲アイヌ文様を作ろう！ステッカー編



iwanpe
6月

arwanpe
7月

▲アイヌ文化教室 大人の遠足 ▲ミニパネル展「ポロトコタンのいきものたち」開始 ▲アイヌ文化教室 アイヌの一生



tupesampe
8月

▲アイヌ文化教室 古式舞踊にふれよう！ ▲ポロトコタンの夜 ▲第4期伝承者育成事業 アイヌ語でうたおう！ ▲カミマイウタ ハワイアン・フラとの交流



▲カジキ 送り

▲カミマイウタ 江差追分公演

sinepesampe
9月

▲イオル チセ送り

▲サケの豊漁祈願 ▲アイヌ文化教室 白老の浜辺とハマナス



wanpe
10月

sinepikasmawanpe
11月

iyayraykere !

▲舟送り

▲コタンノミ



▲アイヌ文様を作ろう！ フェルト編

▲来館者と一緒に輪踊り



▲第4期伝承者育成事業 コタンの樹木案内

▲国立博物館建設地 地鎮祭

▲オルシペ アヌ ロー 通年で第2・4土曜に実施